

ナチス陣營の対立

ナチス急進派の主張は、対内的には、プロテスタント及びローマ・カトリック反対派に対する弾圧強化であり！メーレンエダヤ人を主とする世界的政治結社に対する強硬政策、（シャバトはかつてフリーメーソンに入つてゐたので、殊に急進派の攻撃が甚だしい）エダヤ人圧迫の徹底化等である。また対外的には、強硬政策の採用、あかんべくスペイン干渉より一層の強化である。

が、ナチス派と反ナチス派とはれてゐるといふのである。この上ると、国防相プロンベルグ帥一派はナチスで、陸軍長官フッケー派が反ナチス派だといふ。ナチス派は反ソ親佛的であるナチス派は親ソ反佛的である。プロンベルグが慄急反ソトライ主義の表明者であること確かだが、といって決してナチス派も古く反ソ派でもない。この関係軍内対立（それは必ず存在しておがうう）に関する米誌緑野記をかり区分には、俄に賛成し難いやうと思はれる。

「イツ自由党」と称するパンフレットが、労働者や兵士達の間に撒布された。嚴重なシニタリー（秘密警察）のスパイ網をくじつて堂々と撒布されたので、警察の方では大いに周章で、そのことについて言及した外国新聞は、全部発禁になつた。これは、あらゆる階級及び政党（ドイツ共産党・民主党・社会党及びナチ党）を代表する二種類の如し、そのためナチス政府のアウタルキー政策、自由抑圧、スペイン干渉に反対し、ドイツの商業が大トラストの手中に掌握されることを攻撃してゐるんだ。例によつて天皇党的商業だといふ声もあるが、それも挙げてゐる代表政黨の中に共産党的名前を見えてゐること、その文章が共産党張りである。「アルゼンチン的」である。無論から見て、これは共産党以外の有力な反対派の仕事とみられてゐる。

防軍の戦争反対論にはドイツ軍部の伝統的立場が主義ほども大きいに手伝つてゐるのである。(完)

KEROFIX
DEL SR. ALEMÁN (MARTÍN)
M. SEITZ & Cia
EXPOSICIÓN Y VENTA - TALLERES
DEFENSA 321 CHACAS 4511
LIT. 33-AV. 1529 LIT. 71-9958

あふりか丸
もんてびでさく
廿七日出帆
廿四日入港
廿七日出帆

现代日本の消息
新刊書、雑誌沢山到着
各種雑誌、單行本、講談、小説
類、兒童物、其他

徒然かる夜長を樂しく
読書でお過し下さい

白覆面は午前十時より店内開放と尾聲

市内カセーロス街一九八三
二十二三(アチルデン)九八七二

藏田書店

13 de julio de 1937

El "Argentin Dijo"

Año XIV No. 703 (6)

政治戦略に對する变化

アルベアル沿岸諸州を訪問 オルテイスは宣伝旅行準備中

コンゴルダンシア派、ラチカ
ル党、社会党三派鼎立の大
統領選挙宣伝戦は日一日
と拍車をかけられて行くが
たる般第一次宣伝旅行を終つ
た。ラグナル党總裁アルベア
ルは、去る十日副大統領
候補エンリケモスカと六月
第二次宣伝旅行途につい
た。この度はラプラタ、巴拉ナ河の
沿岸諸州訪問、十一日ゲアレグアイ
チュー、コロハディア、十二日ヘボラ
ル、カンボス、クレスポ、バラナ、十
七日コリエンテス、十九日にはチヤ
コのレシステンシア、エンペトレー
ド、パランケーラ、廿一日ラバジエ、コ
デヤ、廿二日レコンキスタ、廿四日サン
タフェ、廿五日ラアエラ、廿六日帰武
の予定である。

一方コシゴルダンシア派にあつてはオ
ルティス及びカステイジョ兩候補はコ
サリオ、ニアエラ、ラバンダ、ツクマン、サ
ルタ、グヌス、ブフィー・レシステンシア、
バルニケーラ、サンタフェ等を宣伝訪問
の予定で同下その準備はだれされて
ゐるが出发の日時は未定である。

本年度の綿糸生産 概況を予想される

本年度綿作予想は数ヶ月前に發表
されると、この度は

されたがそれ際棉糸生産に関する
統領選挙宣伝戦は日一日
は五三〇〇の七九予想があつてうれ
ながその後気候不順、干魃、虫害
等によつて著しく棉作り減少が見
えられ、本月初旬発表されたる政
府國綿業会の調査によれば本年度入り
候補エンリケモスカと六月
第二次宣伝旅行途につい
た。この度はラプラタ、巴拉ナ河の
沿岸諸州訪問、十一日ゲアレグアイ
チュー、コロハディア、十二日ヘボラ
ル、カンボス、クレスポ、バラナ、十
七日コリエンテス、十九日にはチヤ
コのレシステンシア、エンペトレー
ド、パランケーラ、廿一日ラバジエ、コ
デヤ、廿二日レコンキスタ、廿四日サン
タフェ、廿五日ラアエラ、廿六日帰武
の予定である。

一方コシゴルダンシア派にあつてはオ
ルティス及びカステイジョ兩候補はコ
サリオ、ニアエラ、ラバンダ、ツクマン、サ
ルタ、グヌス、ブフィー・レシステンシア、
バルニケーラ、サンタフェ等を宣伝訪問
の予定で同下その準備はだれされて
ゐるが出发の日時は未定である。

宿帳に反映する

国内の景氣好轉 今年はホテルのあたり年

ホテルは何處も
大入り満員、先
アシチ！ホテル
では木井厂史会
議出席の学者やコルドバ、モンテビ
デオからのお客で一杯、コンチネ
スエベーテ、フリオカーチ祭を
おで込んで増発した中央鉄道の特
別列車で出立した人だけでもリオ
クアルト方面から六五〇人、サンタ
フェから三〇〇人、ロサリオ方面か
ら一千八百人、コルドバから九〇〇人
の予定である。

一方コシゴルダンシア派にあつてはオ
ルティス及びカステイジョ兩候補はコ
サリオ、ニアエラ、ラバンダ、ツクマン、サ
ルタ、グヌス、ブフィー・レシステンシア、
バルニケーラ、サンタフェ等を宣伝訪問
の予定で同下その準備はだれされて
ゐるが出发の日時は未定である。

さて今年は欧洲や北米などから來
る客が増加の一途を辿り、内閣はこれ
を歓迎する方針である。

一方コシゴルダンシア派にあつてはオ
ルティス及びカステイジョ兩候補はコ
サリオ、ニアエラ、ラバンダ、ツクマン、サ
ルタ、グヌス、ブフィー・レシステンシア、
バルニケーラ、サンタフェ等を宣伝訪問
の予定で同下その準備はだれされて
ゐるが出发の日時は未定である。

さて今年は欧洲や北米などから來
る客が増加の一途を辿り、内閣はこれ
を歓迎する方針である。

一方コシゴルダンシア派にあつてはオ
ルティス及びカステイジョ兩候補はコ
サリオ、ニアエラ、ラバンダ、ツクマン、サ
ルタ、グヌス、ブフィー・レシステンシア、
バルニケーラ、サンタフェ等を宣伝訪問
の予定で同下その準備はだれされて
ゐるが出发の日時は未定である。

さて今年は欧洲や北米などから來
る客が増加の一途を辿り、内閣はこれ
を歓迎する方針である。

一方コシゴルダンシア派にあつてはオ
ルティス及びカステイジョ兩候補はコ
サリオ、ニアエラ、ラバンダ、ツクマン、サ
ルタ、グヌス、ブフィー・レシステンシア、
バルニケーラ、サンタフェ等を宣伝訪問
の予定で同下その準備はだれされて
ゐるが出发の日時は未定である。

さて今年は欧洲や北米などから來
る客が増加の一途を辿り、内閣はこれ
を歓迎する方針である。

一方コシゴルダンシア派にあつてはオ
ルティス及びカステイジョ兩候補はコ
サリオ、ニアエラ、ラバンダ、ツクマン、サ
ルタ、グヌス、ブフィー・レシステンシア、
バルニケーラ、サンタフェ等を宣伝訪問
の予定で同下その準備はだれされて
ゐるが出发の日時は未定である。

さて今年は欧洲や北米などから來
る客が増加の一途を辿り、内閣はこれ
を歓迎する方針である。

昨年に比し五つ四分の激減を経て
上りの勝負を示してゐるがために
に結局、棉作は構はる農家へ落
込む金額は棉花の高騰によつて全
国を平均して見るあらば或は昨年
よりも多くあるではないかと見ら
れてゐる状態にある。

土銀に升るエンリコ・ソリスの街 地盤の街に昇る

ダンサー多教補充、南目新ダンゴ二組のオルケスタ新設

ダンサー多教補充、南目新ダンゴ二組のオルケスタ新設

ダンサー多教補充、南目新ダンゴ二組のオルケスタ新設

ダンサー多教補充、南目新ダンゴ二組のオルケスタ新設

ダンサー多教補充、南目新ダンゴ二組のオルケスタ新設

ダンサー多教補充、南目新ダンゴ二組のオルケスタ新設

ダンサー多教補充、南目新ダンゴ二組のオルケスタ新設

ダンサー多教補充、南目新ダンゴ二組のオルケスタ新設

在亞邦人の子弟教育に

重西女示唆を與ふ

細川通訳官の講演並に座談会

日会附属小学校父兄会主催セ去る
十一日午後三時エタ自会館工階に於
て細川通訳官を聘し講演会並に

父兄会は子房教育に熱心ある父兄

二十教名が有り議論會で

先づ賀集父兄会長が開会の許及び

細川通訳官紹介の許及び細川通

度前位地の体験と研究に據る

「ペル」に於ける日本小学校の經營

と其の内容と題して日本ペル

両国間最初の外交關係(明治三年ウ)

支那人奴隸解放問題)より一八八

一年の両国々交開始等より説起

し、今日在秋日本人一ヶ年に於け

出生数が一九三六年には一千四百

五十人でそれを收容して教育し行く

ペル日本小学校の組織及び其の内

容、在秋日本人会の驚異的なる活

動狀態を詳細に述べ、在秋日本人

会及び在亞邦人の子弟教育に対し

重要ある示唆を与へた、終つて座

談会に入り種々意見の交換があつ

つたが、何と云つても在亞日本小學

校も母國政府の在外指定学校にし

ければあらあいが、先決問題は先

づき英國當局の公認小学校にしあけ

染洗組合の役員会

八月廿九日定期総会開催

染洗同業組合では去る十四午後九時

アリ奇藤組合長宅に於て役員会開催

務及が先般行はれた石井外勢省議

院正中心とする職業團體代表の座談

その為め設備及び公認小學校は要

す費用及方法等につき具体的に研

究開始は要あると云ふ。次回り

先般の同業者大会は基き積極

的活動をすゝめ總会提出案作成

(内容追つて發表)

一、今後毎月(四月報)を發行する

ことは學校當局に依ることにし

て次回の会員員会は計ることに

し、午後六時散会、

細川通訳官の講演によればペル中央

内容は大体左の如くである。

日本会經營の日本小學校の組織及

内容は大体左の如くである。

幼稚園部(二年、日本語ばかり)小学

部(五年、二年、三年は二語を主とし

四年、五年日本語を主とする)東京部

(女子)不学卒業に就き教授)公民

学校(男子)(中等学校に進むる者を

ために)以上七年で西語日本語六

は小學校全課程を終ることに成功

した、先づ大城天郎開会の件述

べて後崎田祐司氏と議長に委嘱

モソボス待一六四六番地同協会天郎

は於て会員約五十名出席の下に開

会は開催され、議長は推す旨計れど、

新規員会ご商議する事なし。

大城氏より瑞慶覧代表を提案す

れれば崎田氏より瑞慶覧氏は勿論現

在の功勞者ばかりでなく過去の功勞

者故平穮次郎氏表彰案提出双方共

に可決され、

大城氏より瑞慶覧長榮氏

の会計報告、会計瑞慶覧長榮氏

出武伏見義雄氏先週ゴルドバ市より

商標登録在中

死亡金子守助氏三男ホセ君(大)去

る八日死亡、翌九日子ヤカリタ墓地に埋葬

の儀行ける。

13 de julio de 1937

el "Argentin Dijo"

Año XIV no 703

(8)

通商貿易発展工作を

外務省、本格的に企圖

西國及び近東諸国と使節團を交換

貿易事業團体へ補助金交付

重要性を加へてある

中南米市場

(東京六月十九日) 外務省では通商貿易の積極的改善のため來年度の予算にてアフリカ、中南米、近東の各地に領館を新設すると共に通

(東京六月十九日) 高税率開拓の設

立

アルゼンチン

コロニア

エクアドル

ペル

チリ

ウルグアイ

ブラジル

佛領ギアナ

南領ギアナ

コロンビア

トリニダード

ハサウエー

マラウイ

モーリタニア

モーリシャス

モザンビーク

モーリタニア

モーリシャス

モーリタニア

モーリシャス